

001
ADA MEMBER

森内忠大

Moriuchi Tadayoshi

あなたの職業は何ですか？

建築の設計・施工。
生活の器、仕事の器、街並や風景をつくること。

「青森のデザイン」で印象に残っているものはなんですか？

「雪」。雪がつくり出す風景、そして雪に対応することで生まれた建築、街並。

これからの「青森のデザイン」について思うことを教えてください。

四季が明快であり、季節とともに暮らしがある街としての特徴を生かしていくべき。特に、雪と生きる街の歴史が作りだした独自の風景や文化を、受け継ぎ、また新たに作りだしていければ、と思います。

森内 忠大

1953年青森市生まれ。金沢工業大学建築学科卒業。1978年「逆立ちバス」で建築界へデビュー。住宅建築から商業建築の設計・施工を手がけ、近年はリノベーションにも力を入れている。

森内建設株式会社

〒030-0801 青森市新町1-11-15

TEL.017-773-3746 FAX.017-773-3740

e-mail arch@moriuchi-a.com

http://www.moriuchi-a.com



01



GOOD
DESIGN



03



02



01 個人住宅S邸「自然を有効活用した、雪国の壁付け太陽光発電装置付住宅」—青森市 2012年度 グッドデザイン賞

02 高齢者と障害者の共同住宅「いやし空間『ほ・だあちゃ』」—青森市 2013年度 グッドデザイン・ベスト100

03 個人住宅S邸「ストック住宅を活用したリノベーション事例」—弘前市 2014年度 グッドデザイン賞



野月ひさ子
Nozuki Hisako

あなたの職業は何ですか？

エディトリアルオフィスを標榜する事務所主宰。新聞・雑誌・書籍など出版物の編集デザインのほか、セールスプロモーション企画、アカウントプランニングなど多岐多彩。地場産品を網羅したギフトカタログや周年事業の記念品づくりも楽しい仕事の一つ。ま、一言でくると、プランナーでしょうか。

「青森のデザイン」で印象に残っているものはなんですか？

いつも感動するのは、青森の自然のパノラマ。四季折々表情を変えるそれらは、「青森のデザイン」そのもの。特に寝そべて青空を仰ぎ、流れる雲を追い続けているとデザインの形が見えてくるから不思議。青森の先人たちのデザインを見るにつけ、自然がはぐくむデザイン力を感じます。

これからの「青森のデザイン」について思うことを教えてください。

生まれつきの姿かたちは整形でもしない限り何ともならぬものですが、身にまとう衣服、髪型、きわだつ表情、姿勢等で、内面の輝きを表現できると考えています。

企業も人も商品も、どうせなら良い性格の良い表情を見せてあげたい。地場産品も様々な商品が出ていますが、そこならではの想いを伝える、そんな「青森のデザイン」を考え続けたいものです。

野月 ひさ子

1949年弘前市生まれ。

東京の短大卒業後、地元青森放送のアナウンサー（ラジオパーソナリティ・報道記者・番組制作を含め）として8年勤務。結婚で退職後（そんな時代だったよ）ミニコミ誌の世界で編集を覚える。フリー編集者を経て昭和61年らいつ立ち上げ。平成元年有限会社に改組現在に至る。

あおもりNPOサポートセンタ副理事長として復興支援や人材育成事業などにも参加している。

有限会社らいず

〒030-0965 青森市松森3丁目-18

TEL.017-743-8431 FAX.017-743-8430

URL <http://www.aomori-rise.net/>

e-mail nozuki@aomori-rise.net



01



02



03



04



05



06

- 01 個人の出版物
- 02 様々な雑誌も
- 03 地場の創出技術を活用しての記念品づくり
- 04 ADAの自己ページで昔を振り返る

- 05 地銀ポスター
- 06 地銀広報誌